

ハンドボール選手として

大会にたくさん出て活躍したい

川俣小学校6年 神野 亜瑚

わたしの夢は、ハンドボール選手になって、キーパーとしてたくさんの試合に出場し活躍することです。私がハンドボールを始めたのは、小学1年生の終わり、父がハンドボール経験者ということもあり、兄と一緒にスポーツ少年団にハンドボールを見に行っ

た際に、とても楽しそうだったのですぐに始めました。何度かポジションを変更しながら、現在は、「最後の砦」であるゴールキーパーとしてプレーしています。私の家では兄と弟もハンドボールをやっているため、練習日である水曜日と金曜日以外にも3人で

練習することがあります。全員、ポジションがキーパーなので交代でキーパーをしながら練習しています。さらに上達するために、コーチや先輩のアドバイスを聞いたらすぐに実践したり自分でさらに工夫するなど、これからも練習に励みたいと思います。

「憩いの森大柴」代表の藤原美貴雄さんの植樹祭に今年も参加してきました。3年前にも「日本さくらの会」より100本の苗木をいただき、地域のみなさんの協力により植えられました。今年もさらにその範囲を広げ、大柴に100本の大山桜を植樹しました。藤原さんは、約10年前に春の里山に咲く花木に魅力を感じてから自分の山を「憩いの森」にしようと、仕事の合間を利用して30種類を超える桜やレンギョウ、ヤマツツジやハナカイドウなど多種多様な花木の花を咲かせています。山中には遊歩道が整備され、東屋や展望台、休憩所、ブランコといった遊具もあります。山頂は展望も素晴らしく、将来、桜の名所として人気スポットになるのが今から楽しみです。

町長のひとこと vol.62

